

TurningPoint7 を活用したライブイベントを取材



2016年9月、都内のライブイベントにて最新クリックシステム「TurningPoint7」が使用されました。ライブは大盛況のうちに終了。熱気冷めやらぬ会場で今回の主催者である音楽レーベル feel at home Music 代表、村瀬宏志さんにお話を伺いました。

世間にはないものを

KEEPAD 天野（以下「KJ」）

お疲れ様でした。feel at home Music のイベントは初めてなのですが、もの凄い熱気でしたね。

feel at home Music 村瀬（以下「村」）

ありがとうございます。お蔭様で、毎回ご好評いただいています。今回も満席で、立ち見のお客様にはちょっと窮屈になってしまい申し訳なかったのですが、楽しんでいただけだと思います。

K

ミュージシャンの方々もそれぞれ個性的でしたし、お笑

い芸人の方の司会進行も面白かったです。そもそも、という経緯でこうしたイベントを始められたのですか？

村

やっぱり世間にはないものをやらないといけないと思って。ミュージシャンにしても芸人さんにしても、ウケたい、愛されたい、人気者になりたい、ばっかりじゃ駄目なんです。もちろん、そうした欲求はあっていい。でも、それだけではお客様にお出しするのは失礼でしょ？時間を割いていただいて、お金まで頂戴するわけですから。アーティストは各々、何か特別なものを与えられる存在であって欲しいし、そういうアーティストが集められれば自然と面白いイベントになるはずだ、っていう思いがあったんです。

TurningPoint7を使ったライブパフォーマンスの現在、そして未来

K

なるほど。そういう意味ではクリッカーを使ったパフォーマンスも画期的でしたね。



村

ああ、あれね（笑）。多分あんなことやってるの、日本全国で今のとこ彼らだけでしょうね。

K

ただ曲を演奏するだけじゃなくて、ライブ全体を物語仕立てにしてましたよね。自分探しをする若者の物語から始まり、認知科学とか脳科学とかも絡まってきて。MCでも色んな話をされてました。デネットとかヒュームとか、パーフィットとか。「空」の概念まで…。

村

前は引きこもりの若者を主人公にした深層心理世界を扱ったストーリーだったんだけど、とんがってるでしょ？

K

とんがってますね。単純に歌も演奏も良かったし、物語にも引き込まれましたけど、頭も凄く使わされちゃいました。なんかクタクタです（笑）。

村

やっぱり（笑）。

K

でもクリッカーを効果的に使われてたんで、ライブ中は集中力が途切れることはなかったです。

村

彼ら、オタクですから（笑）。面白いおもちゃを見つけると、とことん使い込もうとする（笑）。

K

いや、実際あそこまで使い込んでいらっしゃるユーザーさ

んは、なかなかいらっしゃらないですよ。カウントダウンタイマーを走らせてBGMを流したり、クロス集計を使ったり…。

村

客席の皆さんも楽しそうでしたね。お客様としても、ああやって参加できるとミュージシャンとの心の距離が一気に縮まる。会場全体にも一体感が生まれる。いいツールだと思います。

K

ありがとうございます。



村

今回彼らはクリッカーを配布するだけじゃなくて、スマホでの投票参加も促してたけど、そこに関しては若干課題も残りましたね。

K

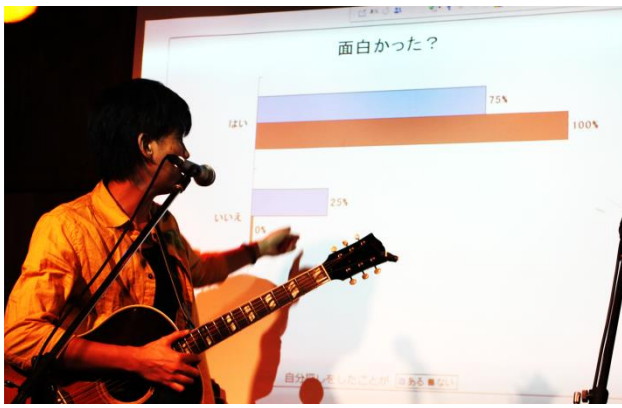
というのは？

村

まず投票しようとする時、毎回スリープ画面からパスワードを入れてロック解除しなきゃいけなかった。ちょっとしたことだけど、あれは手間ですよ。それが一つ。あと、画面を立ち上げた時、LINEなんかのメッセージが入ったりすると、ついそっちを見たくっちゃう。肝心の目の前で行われているパフォーマンスに対して一時的に集中力が削がれちゃう。これがもう一つ。「チケット代を払って席に座っているんだから、何をやろうと勝手にしょ」と言われればそれまでなんだけど、我々としては、やっぱりせっかく見に来て下さった方々には出来る限りコミットしてもらえるのが理想です。

K

そのためにクリッカーやスマホといった参加型ツールを用意するわけですしね。



村

そうそう。でも、彼らとしてもスマホ投票は初めての試みだったので、次回はまた回避策を考えて臨んでくると思いますよ。それこそ、与えられた条件の中でどれだけクリエイティブになれるか、腕の見せどころじゃないですか。

便利さに完全に寄りかかってしまったら、表現者ではなくなってしまう

K

学校の授業や社内研修などでも使われているツールなので、スリープ画面を解除する際に参加者の集中力が切れてしまったり、スマホアプリに注意が移ってしまったりするのは、あらゆる場面で今後共通の課題だと思います。学校でしたら学内 LAN で許可するアプリを限定して、完全に管理してしまうケースもありますが、大人の参加者相手だと難しい問題かもしれません…。

村

ダメダメ、そういうの。何でも機械や機能のせいにして自分の頭を使わなくなっちゃったら、クリエイティブになれっこないです。「配布回収の手間が面倒だからスマホを使わせたい。でもスマホの他の機能は触らせたくない」ってことでしょ？甘たれるな、ですよ。自分の話がつまんないからスマホのアプリに負けちゃうんです。もっと観客の注意を惹きつけられるような、スマホアプリに負けない面白くて内容のある話をすればいいじゃないですか。それができないっていうなら、最初からクリックカー端末を配布すればいいんです。面倒がらずに。そもそもクリックカーが無いと話を聞いてもらえない時点で負けです。

K

厳しいですね。

村

だって、お金をいただいているんですよ？しかも、限られた時間とはいえ、人生の一部も割いてもらってるんですよ？まず、そこはちゃんと自覚しないと。思考停止に陥ったらその時点で負け。世の中どんどん便利になるのはいいんだけど、便利さに完全に寄りかかってしまったら表現者ではなくなってしまう。今日のあのユニットだって、内容によってはクリックカーを使わない方が伝えたいことが伝わると判断した時は無しでやることもあります。最近はずっと使ってますけど（笑）。実際、盛り上がりますしね。

K

ありがとうございます（笑）。

村

いずれにせよ、うちのアーティストたちには、そういう意識的な部分や客観的な立場で考えること、クリエイティブであるために頭を働かせること、なんかを常々言って聞かせてます。

K

部活の顧問の先生みたいです。

村

そうですね（笑）。出演させることでアーティストたちを育てるというのも、イベントを続けている大事な目的なんです。それで世の中から注目されるようになって、ホールやドームじゃないと観客を収容しきれなくなったら、遠慮なく僕の元から巣立って行ってくれればいいと思ってます。

K

熱いですね。我々も、そんな熱い村瀬さんと feel at home Music に集う皆さんを、これからも応援しています。

村

ありがとうございます。

K

本日はイベント後のお忙しい中、お時間をくださりありがとうございました。

feel at home Music

レコーディング、ミックス/マスタリング、楽曲制作/アレンジなどの音源制作から、CD/DVD プレス、ジャケット制作、全国流通/音楽配信といったパッケージ化、流通に至る全工程を手掛ける総合音楽レーベル。

ライブイベント企画、ラジオ/TV 制作（出演）、MV/PV 制作等メディアを積極的に活用した露出戦略を図ると共に、チラシ/ポスター/DM 制作、個別レッスンといった、アーティストの認知度やレベル向上のためのきめ細やかなサポートにも力を入れる。PA 業務や契約/権利/出版関連に関する相談にも対応。

WEB : <http://www.fah-music.com> E-MAIL : info@fah-music.com TEL / FAX : 045-877-6740